

ダイヤモンド就活ナビ2019 就職モニターレポート3月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2019年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 867名
- ◆調査期間 2018年3月15日（木）～3月22日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	651名 (75.1%)	理系	216名 (24.9%)
----	-----------------	----	-----------------

【大学エリア別回答学生数】

北海道	93名	10.7%
東北エリア	24名	2.8%
関東エリア	376名	43.4%
甲信越エリア	18名	2.1%
東海・北陸エリア	67名	7.7%
関西エリア	172名	19.8%
中国・四国エリア	85名	9.8%
九州・沖縄エリア	32名	3.7%

【回答の多かった学生】

中央大学、日本大学、早稲田大学
慶應義塾大学、関西学院大学、専修大学
明治学院大学、上智大学、明治大学
近畿大学、國學院大学、同志社大学
関西外国語大学、青山学院大学

◆TOPICS◆

<就職活動の進行状況>

「個別企業のセミナー・説明会に参加」76.7%、「プレエントリー」74.3%、
「就職情報会社が主催する業界・合同セミナーに参加」70.9%をメインに進行中。

<エントリー状況>

平均エントリー数は27.7社と前年比3.9社減少。30社を割り込む結果に。
「少しでも興味があればエントリー」がトップだが、減少傾向。

<セミナー・説明会の参加状況>

個別企業セミナーの平均参加数は7.1社と2年連続増。
参加のきっかけは「就職サイトを見て」73.3%がトップ。「企業のHP」が57.5%で続く。

<就職活動観>

就職活動観は「苦戦するかもしれない」が47.3%でトップ。
企業規模は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」42.8%に、
「できるだけ大手」が30.7%で続く。

【本調査に関するお問い合わせ】

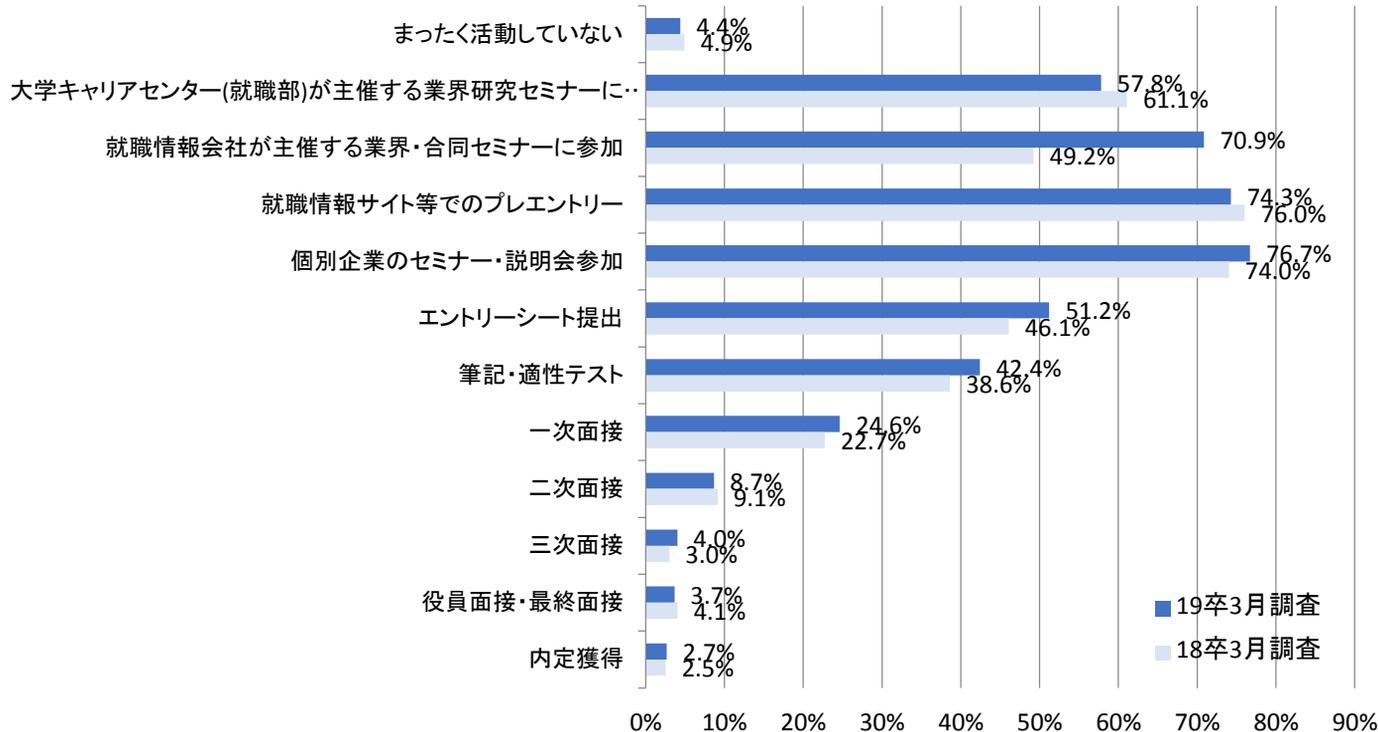


株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

営業局 首都圏営業部
TEL : 03-5319-2452
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動の進行状況

◆現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください

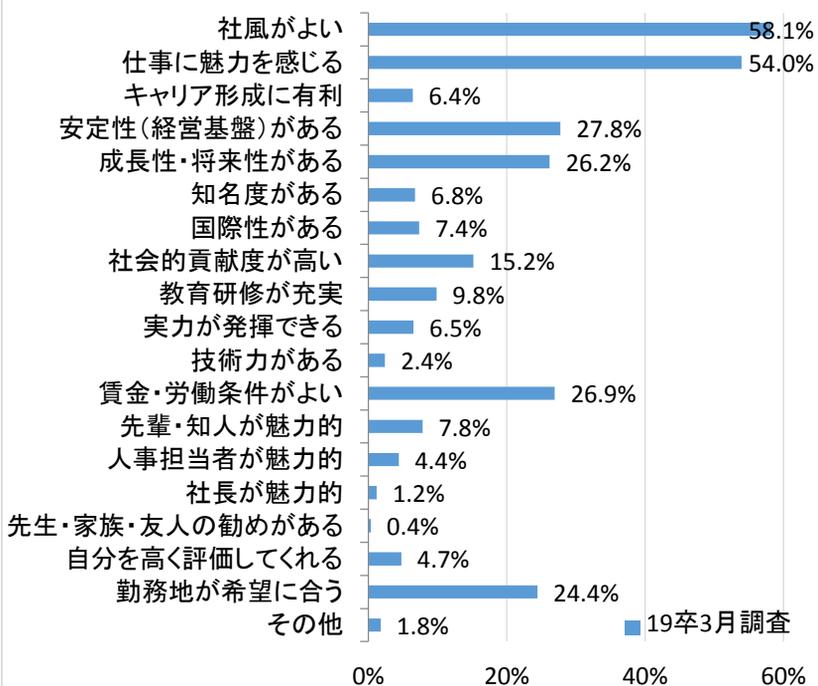


現状の就職活動は「個別企業のセミナー・説明会参加」76.7%、「プレエントリー」74.3%、「学外の合同セミナーに参加」70.9%をメインに進行中。

就職活動の進行状況は「個別企業のセミナー・説明会参加」(18卒：74.0%→19卒：76.7%)、「就職情報サイト等でのプレエントリー」(18卒：76.0%→19卒：74.3%)、「就職情報会社が主催する業界・合同セミナーに参加」(18卒：49.2%→19卒：70.9%)が多数を占めた。

選考初期段階の「エントリーシートの提出」(18卒：46.1%→19卒：51.2%)、「筆記・適性テスト」(18卒：38.6%→19卒：42.4%)、「一次面接」(18卒：22.7%→19卒：24.6%)も若干伸ばしている。

◆企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものを3つお答えください。



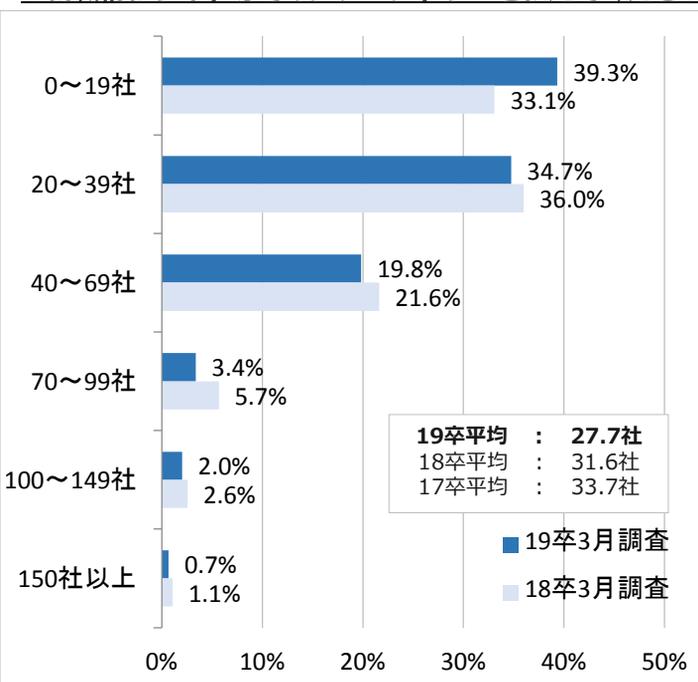
企業を選ぶ基準は「社風がよい」58.1%、「仕事に魅力を感じる」54.0%。社風と仕事内容に関心。

企業を選ぶ基準は「社風がよい」が(18卒：57.7%→19卒：58.1%)でトップ。僅差で続く「仕事に魅力を感じる」(18卒：55.3%→19卒：54.0%)と合わせて、学生の関心が伺える。

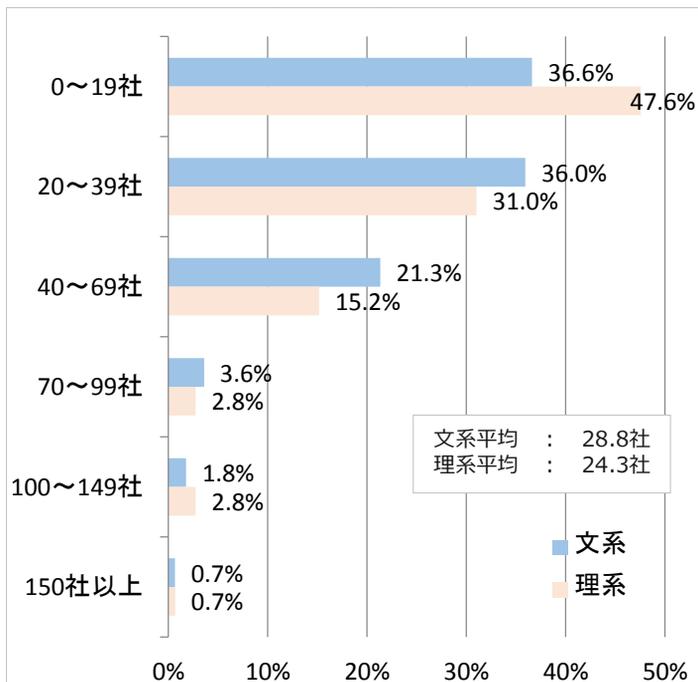
以降は「安定性(経営基盤)がある」(18卒：30.1%→19卒：27.8%)、「賃金・労働条件がよい」(18卒：25.3%→19卒：26.9%)、「成長性・将来性がある」(18卒：22.5%→19卒：26.2%)が続く。

エントリー状況

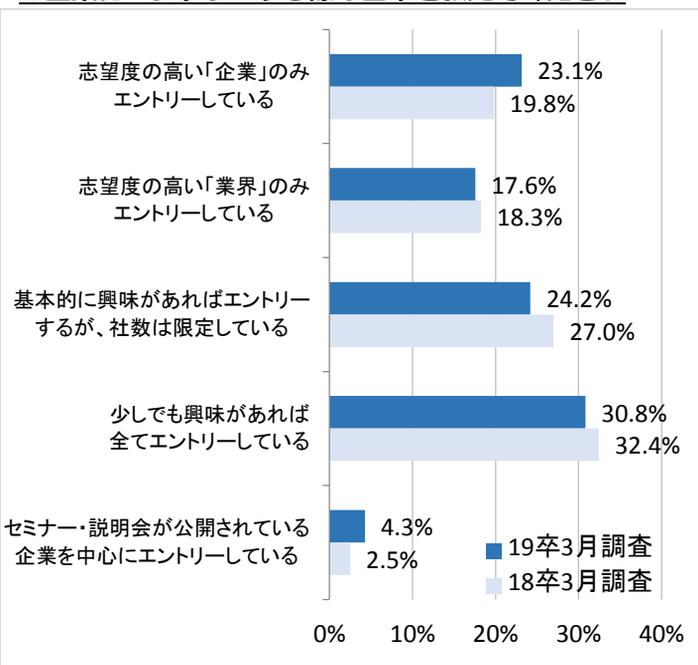
◆就職情報サイト等でのプレエントリーを教えてください



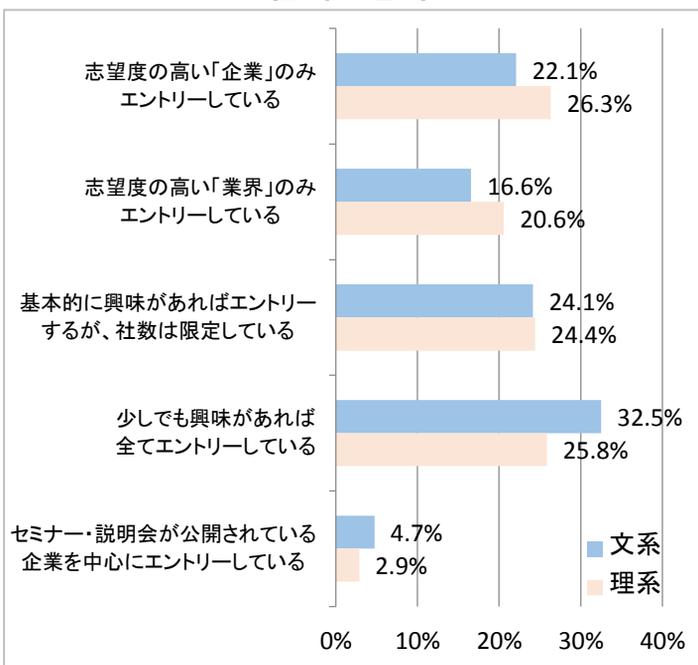
(19卒文理別)



◆企業にエントリーする際の基準を教えてください



(19卒文理別)



平均エントリー数は27.7社。前年平均31.6社から▲3.9社で、2年連続減少の結果。「少しでも興味があれば全てエントリー」がトップだが、前年より1.6ポイント減。

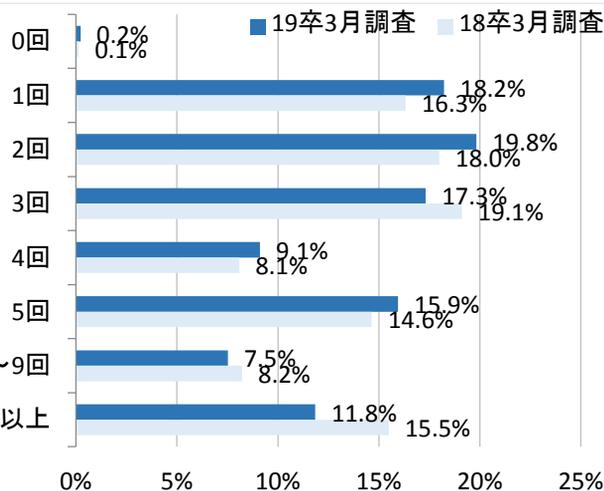
学生一人当たりのエントリー社数は27.7社と、18卒3月調査の31.6社から3.9社減少する結果となった。17卒3月調査から減少傾向にある。エントリー社数は「0～19社」が39.3%とトップ、次いで「20～39社」34.7%が続く。

文理別にみると文系のトップは「0～19社」36.6%、僅差で「20～39社」と続く。理系のトップは「0～19社」47.6%で、次点の「20～39社」は31.0%で、16.6ポイントの差をつけた。

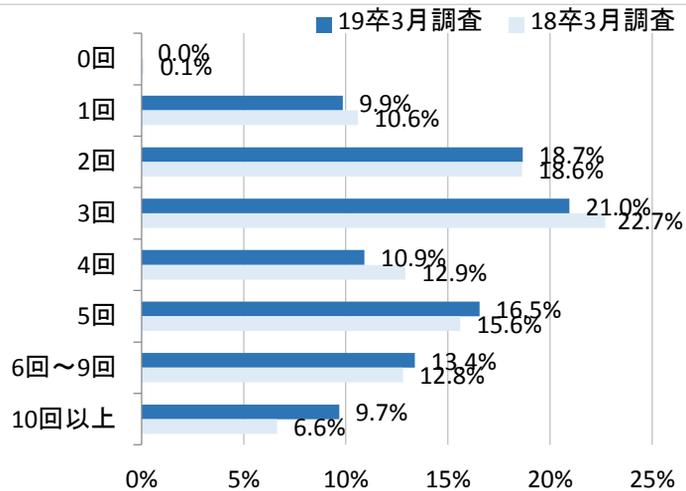
企業にエントリーする際の基準は、「少しでも興味があれば全てエントリー」が30.8%とトップだが、18卒の32.4%から1.6ポイント減。グラフにはないが、17卒では39.1%であり、減少傾向にある。反対に「志望度の高い企業のみ」は23.1%と18卒3月調査より3.3ポイント増加した。文理別では「少しでも興味があればエントリー」が理系25.8%に対し、文系32.5%と6.7ポイント上回った。文系学生の積極的な姿勢がうかがえる。

説明会・セミナーの参加状況

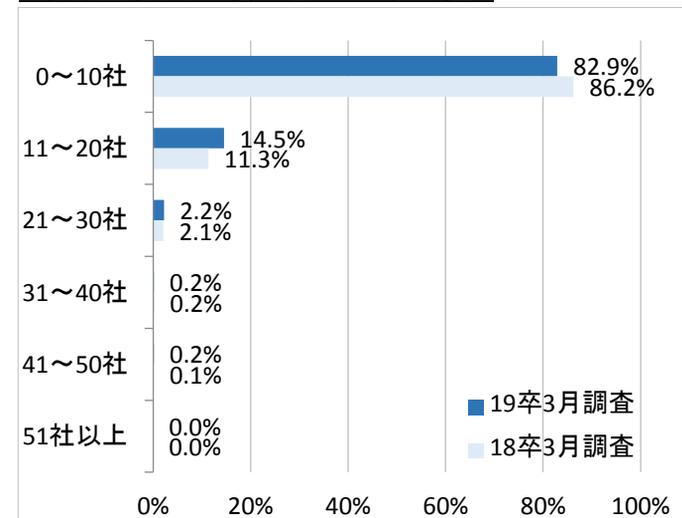
◆【学内】キャリアセンターが主催するセミナー参加回数



◆【学外】就職情報会社が主催するセミナーの参加回数



◆個別企業の説明会・セミナー参加社数



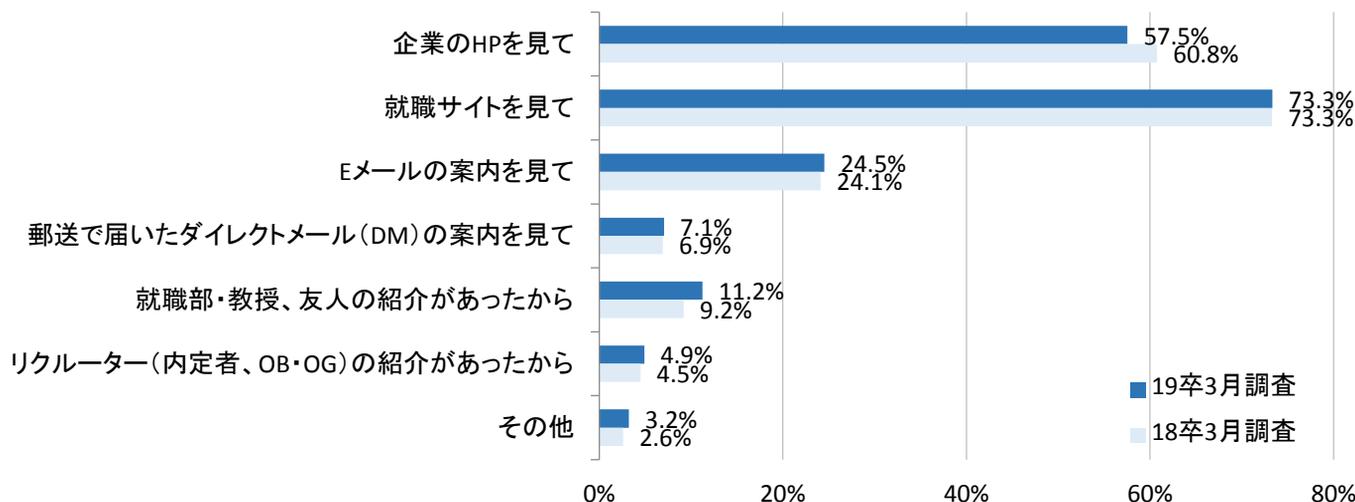
◆学内合同セミナー	◆学外合同セミナー	◆個別企業セミナー
19卒3月調査	18卒3月調査	18卒3月調査
・・・平均4.4回	・・・平均4.4回	・・・平均7.1社
18卒3月調査	18卒3月調査	18卒3月調査
・・・平均5.0回	・・・平均4.2回	・・・平均6.7社

**個別企業セミナーの平均参加数は7.1社。
前年比0.4社増。**

学内合同セミナーの参加回数は平均4.4回で、前年比0.6回減、学外合同セミナーは4.4回で前年より微増となった。個別企業の説明会・セミナーは7.1社と、17卒平均：5.7社、18卒平均：6.7社と年々増加している。

各企業が積極的に説明会・セミナーを開催している様子が見えてくる。

◆個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？

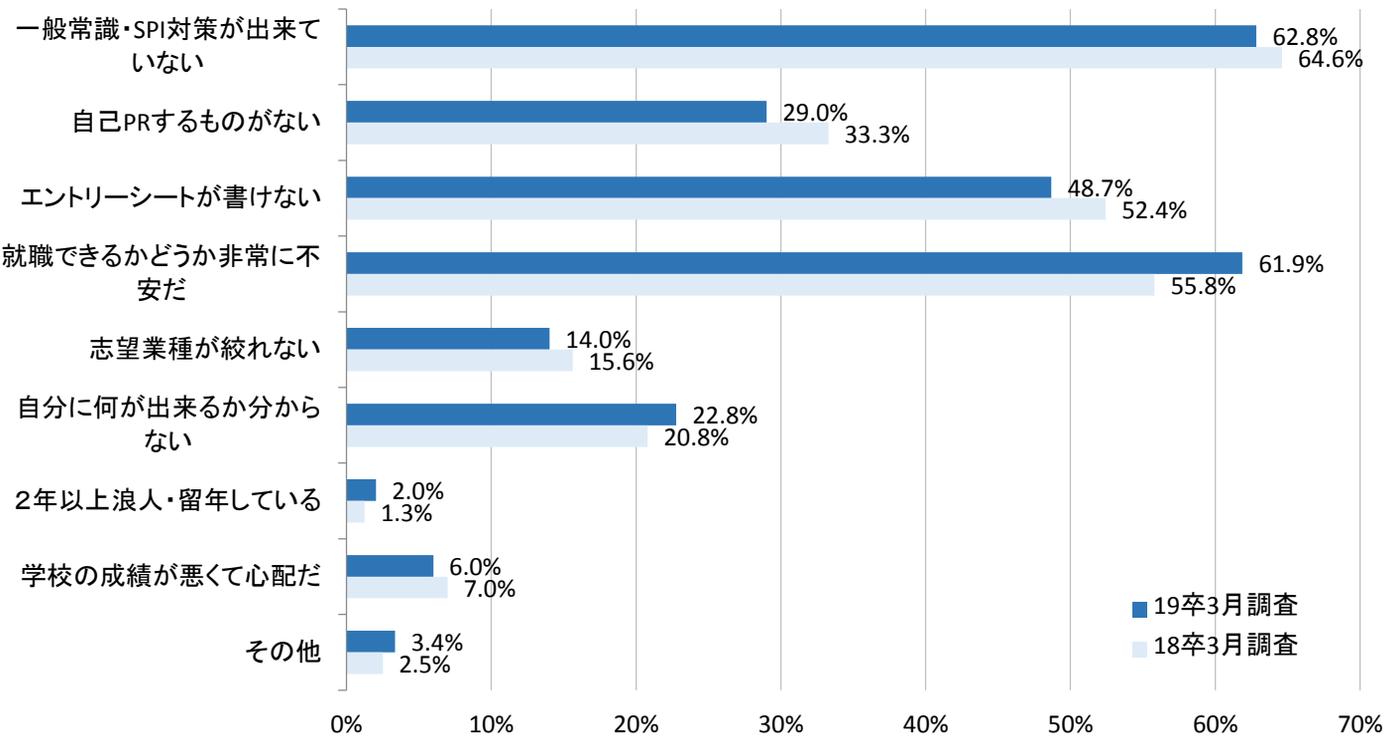


参加のきっかけは「就職サイトを見て」73.3%がトップ。「企業のHP」が57.5%で続く。

説明会・セミナーに参加するきっかけは、「就職サイトを見て」が73.3%と4人に3人以上が回答しトップとなった。次点は「企業のHPを見て」が57.5%で続く。

就職活動観

◆今、抱えている悩み(不安)は何ですか？

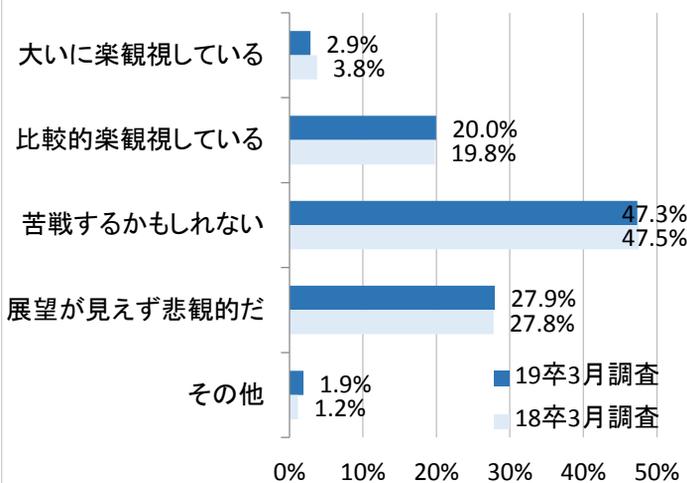


「一般常識・SPI対策」「就職できるかどうか」の2項目について過半数の学生が不安を抱える。「自分に何が出来るかわからない」が18卒より2.0ポイント増加。

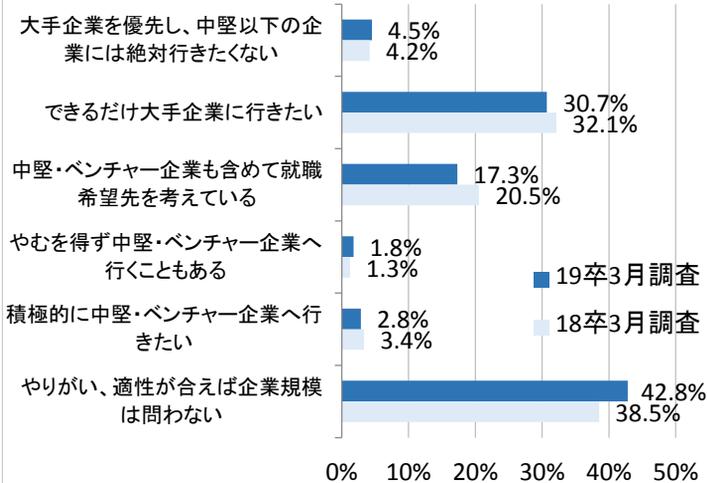
今抱えている悩み(不安)は「一般常識・SPI対策が出来ていない」が62.8%が18卒同様トップとなった。「就職できるかどうか非常に不安」(18卒: 55.8%→19卒: 61.9%)と6.1ポイント伸ばし次点につけている。

「自己PRするものがない」「エントリーシートが書けない」といった具体的な悩みが前年に比べ減少し、「自分に何が出来るかわからない」という漠とした悩み(不安)が増加した。

◆就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。



◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものをお答えください。



就職活動観は「苦戦するかもしれない」が47.3%でトップ。

企業規模は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」42.8%、「できるだけ大手」が30.7%で続く。

就職活動が「苦戦するかもしれない」と考える学生が47.3%でトップ。次いで「展望が見えず悲観的だ」が27.9%で18卒と同じ傾向となった。企業規模に関しては「やりがい、適性が合えば規模は問わない」が42.8%でトップに対し、「できるだけ大手企業に行きたい」が30.7%で迫る結果となった。